

会 議 録

1 会議名 地域クラブ活動の円滑な推進に関する市民会議

2 会議種別 市政運営上の会合

3 議 題

- ・各取組の進捗状況の確認
- ・主要取組事項に関する意見交換

4 開催日時 令和8年8月25日(火)
17時00分～18時30分

5 開催場所 北九州市立子ども図書館 2階 大研修室
(北九州市小倉北区城内4-1)

6 出席者氏名(敬称略)

【構成員】

高田俊也、大島まな、菱谷恒一、石川隆之、三浦豊、穴井秀和、上村英樹、
園田美恵子、佐々木和古、森山陽介、神田摩耶
市立中学校生徒代表2名(氏名非公表) ※オンライン参加

【オブザーバー】

三浦隆宏

【事務局】

太田教育長、星之内教育次長、栗原企画調整部長、古小路生徒指導担当部長、
海老部活動地域展開担当課長、木村部活動地域展開担当課長、村上部活動地域
展開担当課長、髙尾企画調整課長

7 議事概要

- ・ 開会にあたり、太田教育長より挨拶
- ・ 各取組の進捗状況について事務局より説明、生徒代表との意見交換
- ・ 主要取組事項について事務局より説明、質疑応答・意見交換

8 会議経過（発言要旨）

議題1 「各取組の進捗状況の確認」

- ・生徒アンケートの集計結果について事務局より説明

<生徒代表との意見交換>

【生徒代表】（バスケットボール部）

現在は地域クラブに入っていないが、土日もバスケットボールをしたいため、今後は参加したい。平日の練習成果を練習試合等で発揮できることや、他校の生徒と交流し、新しい友達ができることを期待している。

【生徒代表】（吹奏楽部）

普段から土日もほとんどの部員が活動しており、9月から地域クラブに参加する。クラブ名を自分たちで決め、他校の生徒と話し合うことを楽しみにしている。練習がより充実し、上達が速くなることも期待している。

一方、打楽器等の大きな楽器の運搬や、他の人の使用による学校の楽器の損傷、学校外でのメンテナンスの難しさに不安がある。

【構成員】

平日の顧問と休日の指導者が異なることについて、どのように考えているか。

【生徒代表】（バスケットボール部）

指導者はまだ分からないが、学校の顧問でなくても、教わりながら活動したい。

【生徒代表】（吹奏楽部）

指導者によって注意点が異なる難しさはあるが、教わった内容を記録して平日の顧問に伝え、相談しながら上達したい。

【構成員】

地域展開について、仲間内で「こうなったらいい」「こうなったら嫌だ」と話すことはあるか。

【生徒代表】（バスケットボール部）

地域展開後、3年生のときの引退試合がどうなるかを友達と話している。

【生徒代表】（吹奏楽部）

地域クラブについては「楽しみだ」という話が多く、不安の声はあまり聞かない。

【構成員】

部活動や地域クラブが変わる中で、大会がどうなるか心配ということか。

【生徒代表】（バスケットボール部）

心配になる。

【構成員】

平日の学校部活動と土日の地域クラブでは、活動内容に大きな違いがあるか。指導者が異なることで、どのような違いが生じるか。

【生徒代表】（吹奏楽部）

活動内容は特に変わらないが、学校外では楽器のメンテナンスがしにくい点が不安である。一方、地域クラブでは、ホールなど本番に近い場所で練習できる点が良い。

【構成員】

学校と地域クラブの両方から大会に参加することはできないルールは知っているか？

【生徒代表】（バスケットボール部）

知らなかった。

【生徒代表】（吹奏楽部）

知らなかった。学校と地域クラブ、どちらから大会に参加するかは決まっていない。

【構成員】

友達との話の中で、「このようなクラブや活動があればよい」「学校や地域にはないが、本当はこんな活動がしたい」といった希望はあるか。

【生徒代表】（2人）

希望の活動は特にない。

【構成員】

バスケットボールや吹奏楽をやっていて、楽しいと思うのはどんなときか。

【生徒代表】（バスケットボール部）

友達と競技し、自分たちで考えたプレーがうまくいったときに、ハイタッチをしたり、コミュニケーションを取ったりすることが楽しい。

【生徒代表】（吹奏楽部）

合奏で分からないところを友達同士で教え合い、みんなで上達し、うまく演奏できたときに喜び合えることが楽しい。

【事務局】

生徒から、地域クラブへの期待と不安の双方を聞くことができた。大会・コンクールへの参加方法は競技・活動ごとに異なるため、学校部活動と地域クラブのどちらから参加するか、分かりやすく周知していく。

議題2 「主要取組事項に関する意見交換」

- ・ポスター及びポータルサイトについて事務局より説明

- ・指導者人材バンクについて事務局より説明
- ・吹奏楽部に係る地域クラブ活動の現状及び課題について事務局より説明
- ・経済的困窮世帯への支援について事務局より説明

＜質疑応答・意見交換＞

【構成員】

現職の教員が人材バンクに登録すると、学校部活動の顧問をしている教員が自分の専門を生かせる地域クラブに移り、顧問が不足する懸念がある。

【事務局】

教員が地域クラブ活動に従事する場合は、無報酬であっても、本来業務の職務専念義務と整合させる必要がある。人材バンクに登録したからといって直ちに地域クラブ活動に従事できるわけではなく、マッチングに教育委員会が介在するため、学校部活動から無制限に人が抜けることにはならない。兼職兼業のルールと合わせて、人材バンクの仕組みを各学校と共有したい。

【構成員】

どのような方が地域クラブを立ち上げ、人材バンクの利用を希望すると想定しているか。

【事務局】

地域クラブの設立を検討する方は、保護者、地域住民、既存クラブの関係者など、様々なケースを想定している。

人材バンクの利用については、人事異動などに伴い地域クラブが後任の指導者を探すケースや、地域クラブを立ち上げたいので指導者を見つけたいケースなどを想定している。いずれも教育委員会がマッチングを支援する。

【座長】

地域展開には、専門外の部活動を担当する教員の働き方を見直し、希望する教員が専門性を生かして指導できる利点がある。一方、放課後の生徒の様子を把握する学校部活動の教育的意義もあるため、学校と地域クラブが補完し合うことが重要である。

地域クラブの継続性と子どもへの教育的配慮を確保するには、一定の活動基盤を持つ方々が担うことが現実的である。勝利を過度に重視する指導等を防ぐ認定・確認の仕組みも明確にする必要がある。大会参加の条件を指導者も十分理解していない例があるため、生徒の不安を解消する広報とルール整理は、大人が進めなければならない。

【構成員】

吹奏楽では、楽器ごとに個人・パート練習と合奏を反復する。今回、音楽室が使えるようにセキュリティの対応をしているが、各パートの練習場所をどう確保するのか。

【事務局】

休日にどこまで普通教室を使うことができるか課題もあるが、学校ごとに動線などを考えながら対応していきたい。

【構成員】

先日聞いた話で、知人が演奏を教えている小学生が、中学校は部活がなくなるからジュニアオーケストラに入ると言ってきたそうだ。学校部活動や地域クラブについて、引き続きしっかり広報をしてほしい。

【構成員】

総合型地域スポーツクラブの会議では、以前は地域展開への協力は難しいとの反応が多かったが、現在は「自分たちは活動の場所を持っているため、指導者がいれば運営できるかもしれない」という意見になってきた。市内の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、自治会関係者には、長年の団体運営のノウハウがある。こうした運営主体に、ポータルサイトと人材バンクを通じて指導者を結び付け、どの地域でも希望する活動ができる環境を目指してほしい。

会費について、目安として示されている3,000円は、月1回の活動に対してなのか、それとも月4回の活動なのか。活動頻度によって指導者への謝金など活動継続のための条件が変わるため、考え方を明確にしてほしい。

【構成員】

スポーツ協会の加盟団体には、地域展開への協力を競技人口の拡大につなげたい団体がある。団体単独で動くまでは難しいようだが、協会として、加盟競技団体への周知と地域クラブとの橋渡しに協力したい。

地域クラブは学校施設が優先利用できるが、市のスポーツ施設の方が冷暖房の整備が進んでいる。市のスポーツ施設を地域クラブが利用する場合、施設・空調使用料をどう扱うのか、活動継続の話にも関わってくる。

【事務局】

市のスポーツ施設の利用の取扱いについては、今後整理していきたい。

【構成員】

平日の学校部活動の部費と休日の地域クラブの会費は、同じ学校・生徒が活動する場合でも、別々に管理・支払うことになる。保護者の金銭的負担と会計管理の負担が増えることについて支援を検討してほしい。

【事務局】

学校部活動の部費と地域クラブの会費は、地域クラブが他校の生徒も受け入れるため、通帳を分けて管理する必要がある。その負担は認識しており、どういった支援ができるか検討したい。

月額 3,000 円の会費は、休日に月 4 回活動する場合の会費の目安である。令和 8 年 9 月からは月 2 回の活動となるため、経済的困窮世帯への助成案を月額 1,500 円とした。来年度の助成についても今後関係部署と協議を行う。

また、企業から協賛を募り地域クラブ活動の経費に充てている自治体がある。それによって保護者の会費負担をなくすまでは到っていないようだが、今回説明したプロスポーツ応援宣言にとどまらず、企業からの協力を得る仕組みを作っていくのが今後の課題。

地域クラブは営利目的の活動ではないが、活動を安定して継続していく上では指導者への報酬や施設の利用料など一定の財源が必要である。他都市事例も研究し、地域クラブの運営の持続可能な運営方策を検討する。

その際は、改めて「地域クラブ」とは何なのか、営利の話だけでなく、民間のクラブや市民センターの活動など、子どもたちに機会を提供している様々な活動も見渡した上で、地域クラブが目指すものはここであり、その実現のためにこういう支援を行っていく、という構図を示したい。

広報・理解促進については、教育委員会から小学生と保護者に保護者連絡アプリで説明動画を配信し、今後は各中学校の教員が校区の小学校で説明する予定である。中学校でも全校生徒への説明や校内研修を進めている。こうした取組みの途上であるが、今回も大会参加の件や「部活動がなくなる」といった話があったため、引き続き教育委員会と学校が連携し、各校が保護者・生徒にきちんと説明できるようにしていきたい。

今回示された課題は、取組をやめる理由ではなく、解決すべき事項である。次回以降の会議でその進捗の状況を示していきたい。

生徒アンケートと生徒代表の声を今後の取組に生かす。大会・コンクールは、上達の成果を発揮する重要な機会であり、関係団体と参加条件を詰める必要がある。より多くの生徒が活動しやすい環境に向け、学校部活動と地域クラブ双方の運営上の課題を解決していきたい。

【座長】

生徒の不安感が減り、わくわく感が増えるよう地域展開を進めたい。次回は、9 月の地域クラブ活動拡大後の実態も踏まえて議論したい。

9 その他

会議を公開で実施。

10 問い合わせ先 教育委員会 総務企画部 企画調整課
電話番号 093-582-2357